

2016年 定時社員総会 議事録

開催日時 平成28年5月23日（月） 15時～17時

会議場 東京都千代田区大手町1丁目3番1号 JAビル

全国農業協同組合連合会 本所3203会議室

一般社団法人 日本飼料用米振興協会

一般社団法人 日本飼料用米振興協会

2016年 定時社員総会 議事録

東京都内の会議室（JAビル）において2016年定時社員総会を開催した。

開催日時 平成28年5月23日（月） 15時～17時
会議場 東京都千代田区大手町1丁目3番1号 JAビル
全国農業協同組合連合会 本所3203会議室

議決権のある社員総数	15個	
正会員（全農）		出席
正会員（生活クラブ連合）		出席
正会員（木徳神糧）		出席
正会員（シンジェンタ）		欠席
正会員（中国工業）		欠席
正会員（中野区消団連）		出席
正会員（NPO未来舎）		出席
正会員（東京農業大学 谷口信和）		欠席
正会員（信岡誠治）		出席
正会員（谷 清司）（委任状）		出席
正会員（海老澤恵子）		出席
正会員（羽賀育子）		出席
正会員（若狭良治）		出席
正会員（菊地 実）		欠席
正会員（岩野千草）（中野区消費者団体連絡会・会員）		出席
総社員の議決権の数	15個	

【議 事】

1. 開会挨拶と資格審査報告を若狭良治理事・事務局長が行った。

2015年度 正会員数15人中 本人出席（11） 委任状（1）として適法に総会が成立していることを確認した。

2. 議長選出

定款第13条～16条の定めにより、代表理事の海老澤恵子が議長に就き、開会を宣言し、議事に入った。

3. 議長挨拶（理事長：海老澤恵子）

「私たちの振興協会は、設立後、3年目に入り、新年度事業として、農林水産省と共同開催で「飼料用米収量日本一 表彰」事業を実施する運びとなりました。また、設立一年目より、「超多収米普及連絡会」以来の伝統を受け継ぎ、この2年間、通算8回目、9回目となる「飼料用米を活かす日本型循環畜産推進交流集会～飼料用米普及のためのシンポジウム2015, 2016～」を引き続き開催してまいりました。

来年3月には、通算10回目となる「飼料用米普及のためのシンポジウム2017」を東京大学・弥生講堂で開催することで会場の確保を行いました。

新年度は、これから皆様で審議決定していただく活動方針を高く掲げて、共に飼料用米の普及と食糧自給率の向上を目指してまいりたいと思います。本日はよろしくご審議のほどお願い申し上げます。」と挨拶を行った。

4. 第1号議案 2015年度正社員、賛助会員の確認

正会員

全農・生活クラブ連合・木徳神糧・中野区消団連・NPO未来舎・
東京農業大学／谷口信和・信岡誠治・谷 清司・海老澤恵子・羽賀郁子・若狭良治（11個）
2015年度入会 正会員（4個）
中国工業、シンジェンタ J A P N ・菊地 実・岩野千草（中野区消費者団体連絡会）
2015年度 賛助会員（7個）
おかやまコープ、滋賀県飼料米協議会、庄内みどり農協、秋川牧園、日本生活協同組合連合会
太陽工業（2016.4.11入金）
以上が報告され、出席者異議なく確認を行った。

5. 第2号議案 正会員の承認と定款の一部変更を提案した。

（1）新規加入希望者の紹介と提案が行われ、異議なく承認された。

株式会社 秋川牧園

（2）定款変更提案

正社員は理事会、賛助会員は代表理事での承認とすると定款を変更することを承認した。

6. 第3議案 2015年度活動報告および審議

2015年度の活動報告があり、出席社員より一部文書の修正意見があり、意見を踏まえ議案書を修正し承認した。

併せて、シンポジウム2016会計報告を承認した。

来年開催するシンポジウム2017は、通算10回目に当たり、会場を東京大学弥生講堂一条ホールおよび会議室に決定した。

主な修正部分

I. 飼料用米をめぐる動きの把握

農水省は、主食用米の需給安定のため飼料米増産が不可欠として、産地に積極的に働きかけている。

農水省試算では、現在飼料米42万トン、飼料米以外の転作（大豆、麦、その他）9万トンの合計51万トン。JAグループが目標とする60万トンの達成には残り9万トン必要となる。

課題は、生産者の動向。

III. 2015年度 活動報告

肥育事例の研究

飼料用米の飼料給与の研究事例として、粳米の微粉末による離乳子豚から肥育豚までの東京農業大学における学生による飼育事例の報告発表を通じて、具体的な給与状況・生育成果を明らかにした。

配合飼料の基礎となる75%部分のトウモロコシを飼料用米（粳米微粉末）に置き換える方法の提案を行った。

飼料用米の物流・保管課題

●同課題に関する研究として、振興協会として太陽工業と連絡を密にしながら東京農業大学、京都府、京都生協、三重県等の共同研究に助言を行い、その成果をシンポジウムで報告していただいた。

更にこれまでの太陽工業の玄米での実験に加えて、東京農業大学との開発事業で玄米利用に加えて、粳米での野外保管実験を開始した。今後の事業課題への端緒を得ることができた。

7. 特別報告 「飼料用米収量日本一」表彰事業について

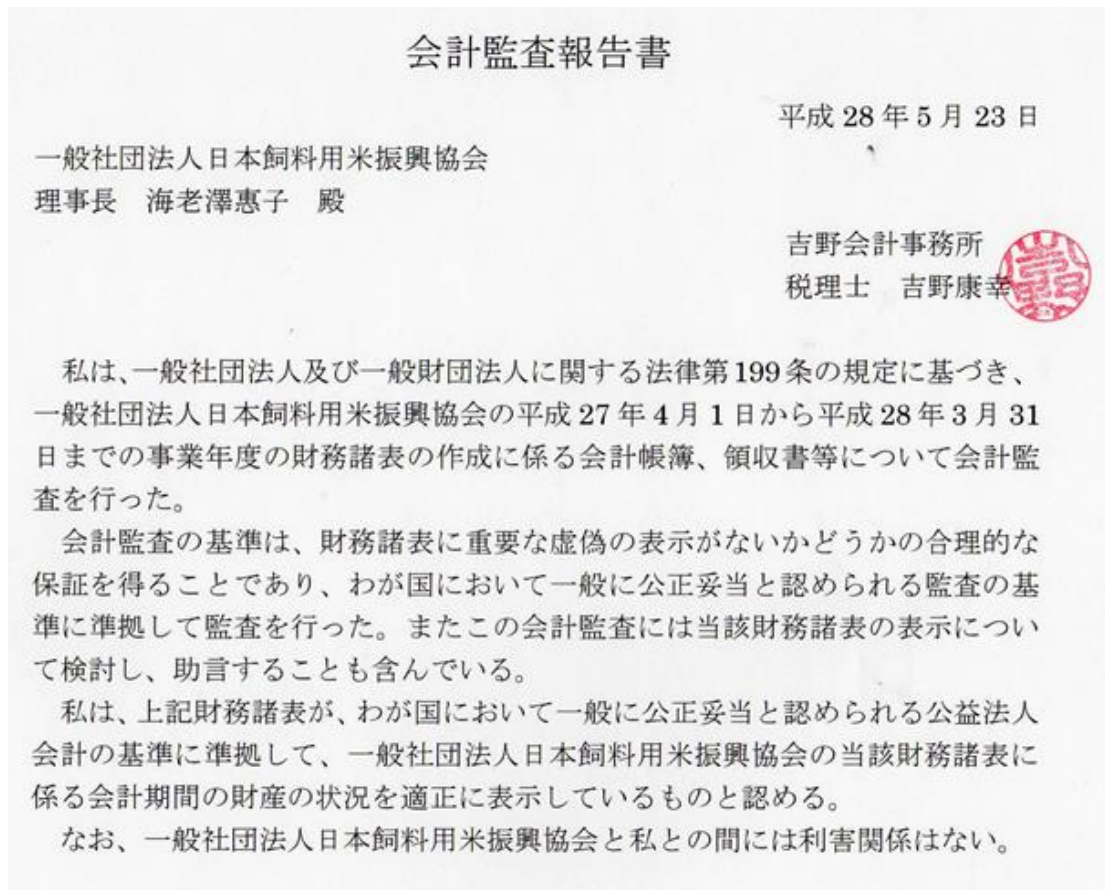
「飼料用米収量日本一」表彰事業について、事業が開始していることが、事業計画になかった大型予算の事業であることを報告し、特別会計及び専用口座を介させしことを報告し、意見を求めたが、異見なく承認された。

特別会計の収入は、協賛金として2,800,000円を全国農協中央会（全中）、全国農業協同組合連合会（全農）、協同組合飼料工業会の三団体による。

本体事業よりも財政規模が大きいことから、当協会の銀行口座（三菱東京UFJ銀行八王子支店口座）のほかに、移転した本部事務所の所在地の同銀行中野支店に新たな専用口座を開設した。

8. 第4議案 2015年度決算報告、監査報告(別紙報告書による)

事務局若狭より、議案書に基づき活動計算書、貸借対照表、財産目録について報告する。決算は、昨年に引き続き、吉野会計事務所(さいたま市桜区西堀2-13-10)による監査を受け、本協会の遠藤雄士監事の監査を受けたことを報告し、審議の結果承認された。



会計監査報告書

平成28年5月23日

一般社団法人日本飼料用米振興協会
理事長 海老澤恵子 殿

監事 遠藤 雄士

私は、一般社団法人日本飼料用米振興協会の監事として一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第199条の規定に基づき、一般社団法人日本飼料用米振興協会の2015年4月1日~2016年3月31日までの事業年度の財務諸表の作成に係る会計帳簿、領収書等について会計監査を行った。

会計監査の基準は、財務諸表に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることであり、わが国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。またこの会計監査には当該財務諸表の表示について検討し、助言することも含んでいる。

私は、上記財務諸表が、わが国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、一般社団法人日本飼料用米振興協会の当該財務諸表に係る会計期間の財産の状況を適正に表示しているものと認める。

2015度 活動計算書

(2015年 4月 1日から2016年 3月31日まで)

一般社団法人日本飼料用米振興協会

単位:円

科 目	金 額	
I 経常収益		
1 会費収入	622,000	
2 賛助会費収入	128,000	
3 協賛金	300,000	
4 雑収入	10,000	
5 受取利息	73	
経常収益計		1,060,073
II 経常費用		
旅費交通費	112,060	
通信費	52,168	
シンポジウム関連費	667,188	
資料購入費	19,191	
事務用品費	111,496	
支払報酬	50,000	
租税公課	106,400	
雑費	3,456	
経常費用計		1,121,959
当期経常増減額		-61,886
III 経常外収益	0	
経常外収益計		0
IV 経常外費用		
経常外費用計		0
税引前当期正味財産増減額		-61,886
当期法人税、住民税及び事業税		0
当期正味財産増減額		-61,886
前期繰越正味財産額		-133,333
次期繰越正味財産額		-195,219

貸借対照表

2016年 3月31日現在

一般社団法人日本飼料用米振興協会

単位:円

科 目	金 額		
I 資産の部 1 流動資産 現金及び預金 未収入金 流動資産合計 2 固定資産 固定資産 固定資産合計 資産合計	327,462	30,000	357,462
	0		0
			357,462
II 負債の部 1 流動負債 未払金 預り金 流動負債合計 2 固定負債 固定負債 固定負債合計 負債合計	529,359	23,322	552,681
	0		0
			552,681
III 正味財産の部 前期繰越正味財産 当期正味財産増減額 正味財産合計 負債及び正味財産合計		△133,333	△195,219
		△61,886	
			357,462

財産目録

2016年 3月31日現在

一般社団法人日本飼料用米振興協会

単位:円

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
普通預金(三菱UFJ銀行八王子支店)	327,462		
未収入金(太陽工業 賛助会費)	30,000		
流動資産合計		357,462	
資産合計			357,462
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金			
交通費・事務用品費ほか	386,799		
シンポジウム看板代(有限会社ピー・スマイル)	142,560		
未払金合計	529,359		
預り金(講演料源泉所得税)	23,322		
流動負債合計		552,681	
負債合計			552,681
正味財産			-195,219

9. 第5議案 2016年度活動方針の提案および審議

事務局より、議案書に基づき提案する。

中期計画に従い、事業計画を策定および提案し、承認された。

10. 第6議案 2016年度予算案の提案および審議

会費収入計画

概算収入見込み	1,350,000 円
特別会計 飼料用米終了日本一表彰事業	
協賛金	2,800,000 円
概算収入見込み	4,150,000 円

2016年度 活動計算書(予算)

2016年 4月 1日から2016年 3月31日まで

一般社団法人日本飼料用米振興協会

単位:円

科 目	2014年度実績		2015年度計画	
I 経常収益				
1 会費収入	690,000		850,000	
2 入会金収入	162,000		200,000	
3 協賛金	300,000		300,000	
4 特別会計(日本一協賛金)			2,800,000	
7 雑収入	73		100	
経常収益計		1,060,073		4,150,100
II 経常費用				
交通費(調査費込)	50,000		150,000	
通信費(インターネット等)	52,168		60,000	
会議費(会議室等)	40,500		150,000	
会議費(予備費)	0		13,000	
資料作成費(シンポジウム)	227,440		180,000	
事務用品費	111,496		50,000	
講師謝金(シンポジウム)	279,335		150,000	
租税公課	106,400		120,000	
外注費(シンポジウム)	142,560		150,000	
会計事務所監査費用	50,000		80,000	
特別会計(日本一表彰事業)			2,800,000	
予備費			30,000	
経常費用計		1,121,959		3,933,000
当期経常増減額		-61,886		217,100
III 経常外収益	0		0	
経常外収益計		0		0
IV 経常外費用				
経常外費用計		0		0
税引前当期正味財産増減額		0		0
当期法人税、住民税及び事業税		0		0
当期正味財産増減額		-61,886		217,100
前期繰越正味財産額		-133,333		-195,219
次期繰越正味財産額		-195,219		21,881

8. 定時社員総会の日程と役員改選について

10. 第7議案 役員選出について、理事会で役員候補の推薦があり、審議の結果、異議なく承認した。

理事を次の通り選出した。

重任 海老澤恵子（中野区消費者団体連絡会 副会長）
重任 木村友二郎（木徳神糧株式会社 グループセールス事業部長）
重任 信岡 誠治（東京農業大学農学部畜産学科 准教授）
重任 加藤 好一（生活クラブ事業連合生活協同組合連合会 会長）
重任 若狭 良治（NPO未来社 副理事長）
新任 遠藤雄士（全国農業協同組合連合会 営農販売企画部 飼料用米対策課長）
新任 谷井勇二（個人社員／田中産業株式会社 営業企画顧問）

監事を次の通り選出した。

新任 庭野千草（中野区消費者団体連絡会 会員）

11. 総会を暫時休憩し、第1回理事会を開催して、理事の役割を審議し、次の通り、役割を決定したとの報告を受けた。

2016年度 第1回 理事会開催報告

開催日時 平成28年5月23日（月） 16時30分～16時50分

会議場 東京都千代田区大手町1丁目3番1号 JAビル

全国農業協同組合連合会 本所3203会議室

議事次第 海老澤恵子を議長に選出し、議事を次の通り進行した。

2016年定時社員総会で選出された理事、監事が出席し、理事の役割について審議し、理事長に海老澤恵子、副理事長に加藤好一、理事・事務局長に若狭良治の重任を承認した。3名は、就任を承認した。

海老澤恵子議長は終了を宣した。

以上で、理事会を終了した。

12. 総会を再開し、海老澤恵子理事長は、理事会での理事の役割について次の通り選出したことを報告した。

理事長 海老澤 恵子 重任

副理事長 加藤 好一 重任

理事・事務局長 若狭 良治 重任

出席した全員異議なく、報告を了承した。

13. 代表理事 挨拶

「社員総会の運営にご協力たまり感謝申し上げます。

飼料用米収量日本一表彰事業と言う新たな事業も開始し、飼料用米の新品種の育成委託事業、粳米の簡易保管実験など飼料用米の普及に向けての具体的な課題の解決に向けて一つ一つ積み上げが始まったことを確認し、一層の努力を積み上げてまいりましょう。今後ともよろしく願い申し上げます。」と挨拶を行い、総会の閉会を宣した。

上記議事録に、理事及び監事が署名押印する。

2016年5月23日

理事	海老澤	恵子	印
理事	木村	友二郎	印
理事	信岡	誠治	印
理事	加藤	好一	印
理事	若狭	良治	印
理事	遠藤	雄士	印
理事	谷井	勇二	印
監事	庭野	千草	印